

飽別線（林業専用道）の整備について

平成 25 年 11 月 13 日

釧路市農林課

1. 概要

間伐などにより森林整備を効率的に進めるためには、林業機械の導入が必要であり、生産の基盤となる低コスト路網を整備する必要がある。

釧路市阿寒町飽別に位置する市有林のカラマツ人工林は、前回平成 10 年または平成 20 年に間伐し、平成 10 年については 15 年が経過し、間伐や更新伐が必要となっている。一方で、既存の路網については、林業機械や 10t トラック走行が困難な状態であり、路網整備が必要となっている。

森林内の路網については、林道、林業専用道、森林作業道と役割によって、3 区分に分かれるが、飽別については森林整備面積が 58ha と一定程度の面積があり木材搬出に 10t トラックの利用や主伐後の植栽など、丈夫で低コストの規格である林業専用道を整備する。（別紙 1）

2. 位置

釧路市阿寒町飽別 3066 林班 2 小班・5 小班（別紙 2）

3. 森林の状況

	3066 林班 2 小班	3066 林班 5 小班
林齢	44 年	43 年
樹種	カラマツ	カラマツ
面積	31.36ha	26.68ha
森林材積	9,659 m ³	8,084 m ³
予想丸太材積	2,293 m ³	1,951 m ³
予想販売価格	4,100 千円	5,168 千円
前回間伐年	平成 20 年(2008 年)	平成 10 年(1998 年)

標準地データ

立木本数 292 本/ha、立木材積 231 m³/ha、平均胸高直径 29.9cm、上層樹高 22.5m



4. 路網の現況



砂利も少なく、一部路肩崩壊が見られ、現況では、車両通行は、困難な状況。

5. 整備予定

林業専用道の規格

整備延長：2,300m

本工事費：38,000 千円（概算）

うち測量試験費：10,000 千円（概算）

国・道補助率：51%

車道幅員：3.0m

路盤厚：5~30cm

全幅員：3.5m

最小半径：12m

縦断勾配：原則 9%以下

待避所：500m 以内

既存の作業道を利用して、路網整備することにより、コストを削減する。

予定路網線形は別紙3のとおり。